

平成 18 年 1 月 31 日

Ref.06-0131-049

3 月 12 日 (日) は『モスの日』！

モスバーガーは今年で 34 周年・「日々草栽培セット」^{にちにちそう}を店頭にて進呈

モスバーガーを展開する株式会社モスフードサービス（代表取締役社長 CEO 兼 COO: 櫻田厚、本社：東京都新宿区）では、来る平成 18 年 3 月 12 日（日）の「モスの日」に、全国のモスバーガー店舗（一部店舗除く）にて、「日々草栽培セット」を、当日ご利用されたお客さまに先着順でプレゼントします。

昭和 47 年 3 月 12 日、東京都板橋区の成増に初めてのモスバーガーの実験店がオープンしました。駅前ショッピングセンターの地階に総面積がわずか 2.8 坪、縦長の店内にカウンター席が 5 つしかない小さなお店でした。現在、モスバーガーは全国 1467 店舗（平成 17 年 12 月末現在）となっています。

店舗数が増えた現在も、創業の心である「感謝される仕事をしよう」というモスの原点を思い起こすと同時に、ここまで育てていただいた地域の方々やお客さまに感謝する日として、この実験店がオープンした 3 月 12 日を「モスの日」に制定しました。

今年の「モスの日」には、モスバーガーに来店されたお客さまに感謝を込めて、「日々草栽培セット」をプレゼントします。

モスフードサービスでは、平成 15 年 2 月より、仙台市にて食品リサイクル実験を開始し、モスバーガー店舗で出された野菜くずを堆肥化する取り組みを行っています。

現在、その取り組みは名古屋地区の一部店舗においても行なわれており、今年の「モスの日」にプレゼントする栽培セットにもその堆肥が一部使用されています。

また、栽培用の小鉢には土中で分解されるココヤシの繊維で作ったポットを使用し、外箱の印刷には、大豆インキ（SOY INK）を使用するなど、環境にも配慮をしています。

日々草は、江戸中期に日本に渡来した一年草で、春から秋にかけて長い間咲く花です。日々新しい花に咲き変わることからこの名前がついています。

高さは 30～60 センチで、花びらの色は赤紫色や白色などがあります。暑さと乾燥に強く小さく育てやすい花なので、人気の品種です。

「楽しい思い出」という花言葉のとおり、毎日が幸せな日々であるように希望をもたせてくれる花です。

< 「モスの日」実施概要 >

- 実施日 : 平成 18 年 3 月 12 日 (日)
- 対象 : モスバーガーを当日ご利用されたお客さま、各店先着 120 名様
店舗により、先着数およびプレゼント方法が異なる場合があります。
- 対象店 : 全国のモスバーガー店舗
(大学店、競馬場店等の特殊店舗および休業中の店舗は除く)
- プレゼント内容 : 「日々草栽培セット」
小鉢 (ココヤシ繊維製)、培養土、種子、ネームタグ、外箱

<これまでの「モスの日」に進呈してきた「栽培セット」>

平成 9 年	マリーゴールドの栽培セット
平成 10 年	四葉のクローバーの栽培セット
平成 11 年	スウィートバジルの栽培セット
平成 12 年	おじぎ草の栽培セット
平成 13 年	ケナフのミニ栽培セット
平成 14 年	黄色いミニトマトの栽培セット
平成 15 年	金蓮花（ナスチウム）の栽培セット 野菜くずのリサイクルによる堆肥を使用開始
平成 16 年	ワイルドストロベリーの栽培セット
平成 17 年	ミニひまわり栽培セット
平成 18 年	日々草栽培セット

<モス（MOS）の名前の由来>

モスバーガーの「MOS」とは、Mountain（山）、Ocean（海）、Sun（太陽）の頭文字で、それぞれ、Mountain(山のように気高く堂々と)、Ocean(海のように深く広い心で)、Sun（太陽のように燃え尽きることのない情熱を持って）、という意味があります。

創業者・故 櫻田 慧（さくらだ さとし）が、人間・自然への限りない愛情と、このような理想の人間集団でありたいという願いを込めて名づけました。

<この件に関する問い合わせ先>

株式会社モスフードサービス 広報室 TEL. 03-3266-7171 FAX. 03-3266-7110

〒162-8501 東京都新宿区筆筈町 22 番地

HP. <http://www.mos.co.jp> E-mail. pr@mos.co.jp